

新潟大学  
医学部保健学科  
大学院保健学研究科

新潟大学大学院  
**保健学研究科保健学専攻**

博士前期課程  
博士後期課程

**2025**

# 研究科案内

保健学の使命と視座を修得し  
俯瞰的な視野を持って研究に取り組む

## 看護学分野

看護理論の追求と実践ができる人材を育成する

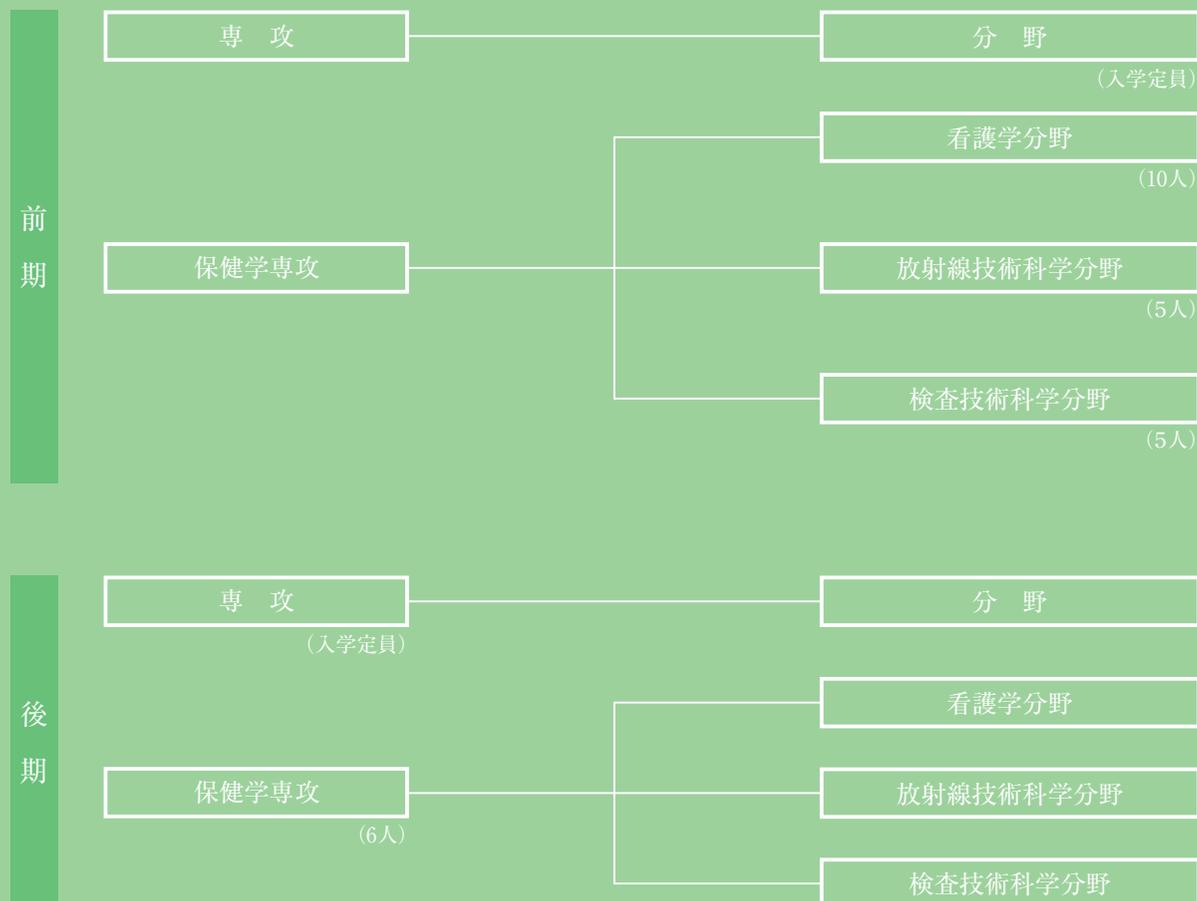
## 放射線技術科学分野

知識を深め技術を有する専門医療職者を育成する

## 検査技術科学分野

技術と幅広い知識を備えた高度専門医療者を育成する

### 構成



## 研究科長あいさつ

新潟大学大学院保健学研究科は、平成16（2004）年4月に新潟県では初めての保健学系大学院として保健学専攻修士課程を設置して誕生しました。平成19（2007）年4月に保健学専攻博士後期課程が設置（修士課程は博士前期課程と改称）され、大学院保健学研究科としての体制を整えた完成した研究科となりました。博士前期課程、博士後期課程ともに看護学、放射線技術科学および検査技術科学の3分野で構成されています。

博士前期課程は、幅広い知識と高度な専門技術を教授し、独創性・専門性の高い指導を通して、保健・医療機関で活躍できる高度医療専門職者の育成をおもな目的としています。看護学分野では、慢性看護、がん看護、遺伝看護において専門看護師（CNS）教育課程の認定を受けています。また、放射線技術科学分野では医学物理士育成のための医学物理士養成コースが開設されており、同コースは医学物理士認定機構の認定教育コースに指定されています。

博士後期課程は、博士前期課程での教育、研究をふまえつつ、さらにこれらを発展させ、健康支援に結びつく保健学の体系化と健康に関連する生命現象を探求し、人々の健康と疾病予防に貢献できる教育研究者および高度医療専門職者の育成を目的としています。

本研究科では、少子高齢化と疾病構造の変化、医療の高度専門化など医療をとりまく状況の変化・多様化に応えるために、看護学、放射線技術科学、検査技術科学の各分野においてそれぞれの新しいあり方を追求し、保健学分野における実践的指導者や組織のリーダーを育成するとともに、この分野に関する専門的知識や研究能力をもつ教育者、研究者の育成を行っています。

また、本研究科は、一般の学生だけでなく、既に社会で活躍している方々により高いレベルの専門知識・技術を教授し、それを再び実践の場に還元していただくことを目的とした社会人再教育の場としての使命も担っています。そのため、社会人として医療・保健・福祉施設や教育研究機関などにおける職務を継続しつつ、課程を履修できる体制を整備しています。社会人特別入試の実施、昼夜開講制や休日、夏期・冬期休業日などを利用した集中授業の実施、長期履修制度の導入などによって、社会人の学習機会拡大を図っています。

本研究科での学び、研究を通して、21世紀の保健医療の発展に寄与したいという意欲ある皆さんの入学を心から歓迎します。



新潟大学大学院保健学研究科  
研究科長 住吉 智子

# 博士前期課程

## 人材育成目標(修了生が身につけるべき資質・能力)

- 1 高度専門知識・技術を持つ人材の育成
- 2 管理実践能力を持ち指導的立場に立てる人材の育成
- 3 国際協力に携わる人材の育成
- 4 教育・研究者への素地の育成

## 社会で活躍中の方にさらにキャリアアップを図る機会を提供します

- 1 働きながら学べる昼夜開講制の実施
- 2 社会人特別入試制度の設定
- 3 長期履修学生制度の導入
- 4 学士資格がない方には個別入学資格審査実施

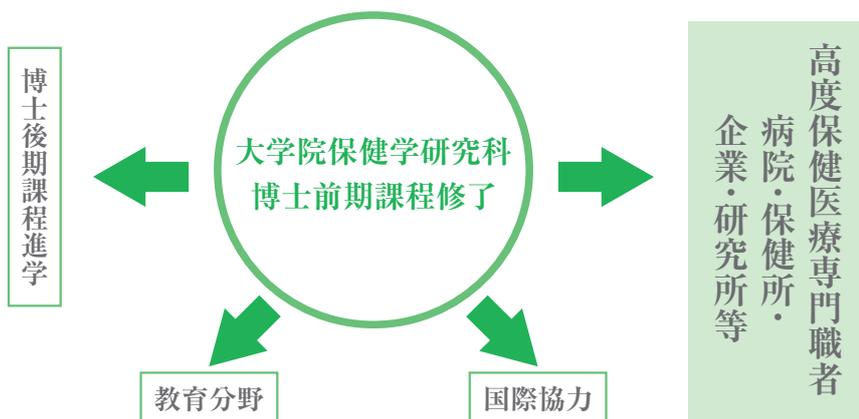
## 授業科目

	科目区分	授業科目		科目区分	授業科目
研究科共通	コア科目	リサーチ・メソッド・ベーシック	看護学分野 ※1		遺伝看護学特論I、II、III、IV、V、VI 遺伝看護学演習I、II、III 遺伝看護学実習I、II、III、IV
	研究支持科目	国際医療保健学概論 医療情報統計科学 保健理工学概論 応用数理解析学概論 病態解析学概論 臨床医療心理学		特別研究	保健学特別研究(看護学)
看護学分野 ※1	共通科目	看護倫理学 看護教育 看護研究 看護理論 医療ナラトロジー コンサルテーション論 臨床薬理学 フィジカルアセスメント 病態生理学	放射線技術科学分野 ※2	共通科目	医学物理学概論 医用放射線科学概論 国際放射線医療科学概論
	専門科目	基礎看護学特論I、II、III、IV 基礎看護学演習・実習 家族看護学特論 地域看護学特論I、II、III 地域看護学演習I、II 地域看護学実習I、II、III、IV 国際看護学特論 国際看護学演習・実習 成人・老年看護学特論I、II、III、IV 成人・老年看護学演習I、II、III・実習I、II、III、IV がん看護学特論I、II、III がん看護学演習I、II、III、IV がん看護学実習I、II、III、IV 小児看護学特論I、II 小児看護学演習・実習 母性看護学特論I、II 母性看護学演習・実習 精神看護学特論I、II 精神看護学演習・実習		専門科目	生体構造機能解析工学特論・演習 放射線物質科学特論・演習 医用放射線機器科学特論・演習 放射性薬品化学・管理学特論・演習 臨床画像医学特論・演習 電磁気学特論 放射線腫瘍学特論・演習 医用画像情報学特論・演習 核医学情報学特論・演習 医学物理学特論・演習 医学物理臨床実習
			検査技術科学分野	特別研究	保健学特別研究(放射線技術科学)
				共通科目	基礎生体情報検査科学論 臨床生体情報検査科学論 国際病態検査科学概論
			専門科目	ゲノム検査分子生物学特論・実習 病原微生物解析学特論・実習 生体情報解析学特論・実習 病態病理検査学特論・実習 病態生理機能学特論・実習 血液・腫瘍検査学特論・実習 免疫病態検査学特論・実習	
			特別研究	保健学特別研究(検査技術科学)	

※1 看護学分野:慢性看護、がん看護、遺伝看護で専門看護師(CNS38単位)教育課程の認定を受けています。

※2 放射線技術科学分野には「医学物理士養成コース」が開設されています。医学物理士教育コース認定(医学物理士認定機構)。

修了後は高度医療専門職をはじめ幅広い分野で活躍できます



## 特別研究指導教員と主研究テーマ

		(メールアドレス)	
看護学	有森直子	遺伝/ゲノム看護、意思決定の支援、助産学に関する研究	arimori
	内山美枝子	検診・治療過程における心身負荷の評価、ケア開発に関する研究	uchiyama
	坂井さゆり	がん看護、緩和ケア、生命倫理に関する研究	sakai
	佐藤美由紀	地域保健活動に関する評価研究、アクションリサーチによる健康なまちづくり	m-sato
	住吉智子	慢性疾患患と家族のQOL、自立支援に関する研究	sumiyosi
	関奈緒	公衆衛生学、予防医学に関する研究	nao
	中村勝	精神保健看護に関する研究	nakamura
	宮坂道夫	医療・看護の倫理的問題とナラティブ・アプローチに関する研究	miyasaka
	井上智代	高齢者の健康づくり、ソーシャル・キャピタルに関する研究	chiyoinoue
	柿原奈保子	アンチエイジングに関する実験研究、補完代替医療・統合医療に関する研究、放射線看護に関する研究、医療政策	kakihara
	齋藤あや	感染症、予防医療、医療コミュニケーション、国際保健に関する研究	ayasaitoh8
	清水詩子	透析看護に関する研究、慢性疾患看護に関する研究	shirakaba
	関島香代子	女性の健康とヘルスポモーション、国際保健に関する研究	ksekijima
	田中美央	重度障害児・者や在宅療養児と家族への支援に関する研究	mio
	成田太一	地域で暮らす人々の健康と生活の質、保健師の活動方法・評価に関する研究	tnarita
横野知江	看護師の継続教育、スキンケア、ケア技術の評価、開発に関する研究	tyokono	
西方真弓	周産期のハイリスク妊産婦とその家族へのケアに関する研究	nishikata	
清野由美子	精神健康の困難を持つ人々への看護に関する研究	seino	
放射線技術科学	大久保真樹	X線および核磁気共鳴を利用した生体情報の計測と解析に関する研究	mook
	小林公一	医用画像を用いた生体構造機能の解析と評価に関する研究	kobayasi
	近藤世範	画像診断支援のための医用画像処理と知的システムの開発に関する研究	kondoy
	齋藤正敏	放射光と物質の相互作用で生じる現象の測定及び解析に関する研究	masaito
	笹本龍太	放射線治療の精度等に関する研究	rsasa
	高橋直也	X線CT、MRIを用いた死亡時画像診断に関する研究	nandtr
	山崎芳裕	核医学領域における画質の評価および改善に関する研究	yoyama
	宇都宮悟	高精度放射線治療とその品質保証に関する研究	sutsuno
	早川岳英	放射線治療の品質管理に関する研究	hayakawa
	市川翔太	人工知能技術を用いた医用画像情報解析に関する研究	ichikawa
岡本昌士	整形外科領域における医用画像処理と画像診断支援システム開発に関する研究	mokamoto	
成田啓廣	医用画像装置の性能評価に関する研究	narita	
検査技術科学	佐藤拓一	口腔生態系の健康維持メカニズムならびに病的環境に関する臨床化学的・検査技術科学的研究	tak
	佐藤英世	生体抗酸化系の発現制御と生理機能に関する生化学的解析	hideyo-s
	佐主雅臣	電気生理学的手法を用いた重症不整脈の病態と治療の研究	masaomi
	富山智香子	疾患における肝臓内免疫担当細胞の動態解析と検査技術への応用	tomiyama
	牛木隆志	炎症抑制因子 SOCS family による慢性炎症制御	tushiki
	奥田明子	膜透過ペプチドを用いた細胞内デリバリーに関する研究	okudaa
	齋藤修	心血管病の診断と治療を支援する検査技術システムの開発に関する研究	osa-saitoh
	サトウ恵	エコヘルスにおける寄生虫感染症～疫学・診断	satomeg
	須貝美佳	病理学的手法を用いた腫瘍細胞の分化、進展における細胞形態の解析	msugai
	松田康伸	肝再生・発癌予防の臨床応用をめざした分子生物学的研究	yasunobu@med.
	渡邊香奈子	病原微生物の分子疫学と病原性に関する研究	kwatanabe
山本秀輝	インフルエンザ宿主防御における自然免疫受容体の機能解明に関する研究	hyamamoto	

(メールアドレスは「@clg.niigata-u.ac.jp」の表記を省略)

# 博士後期課程

## 人材育成目標（修了生が身につけるべき資格、能力）

- 1 研究者の育成
- 2 教育者の育成
- 3 高度医療専門職者の育成

## 博士後期課程カリキュラム



社会で活躍中の方にさらにキャリアアップを図る機会を提供します

## 1 働きながら学べる昼夜開講制、集中講義等の実施

## 2 社会人特別入試制度の設定

## 3 長期履修学生制度の導入

標準修業年限(3年)を越えて4年又は5年にわたり  
計画的に教育課程を履修する制度です。

## 特定研究指導教員と主研究テーマ

		(メールアドレス)	
看護学	内山美枝子	検診・治療過程のケア開発に関する研究	uchiyama
	坂井さゆり	がん看護、緩和ケア、生命倫理に関する研究	sakai
	佐藤美由紀	地域保健活動に関する評価研究、アクションリサーチによる健康なまちづくり	m-sato
	住吉智子	小児の医療情報に関する教材開発、自立支援に関する研究	sumiyosi
	関奈緒	公衆衛生学、予防医学に関する研究	nao
	宮坂道夫	生命倫理学、医療倫理学、看護倫理学の方法論についての研究、ナラティブ・アプローチについての研究	miyasaka
	成田太一	地域で暮らす人々の健康と生活の質、保健師の活動方法・評価に関する研究	tnarita
	清水詩子	透析看護に関する研究	shirakaba
	関島香代子	女性の健康とヘルスプロモーション、国際保健に関する研究	ksekijima
	田中美央	障がい児や医療的ケア児とその家族の支援方策の開発	mio
	齋藤あや	感染症、予防医療、医療コミュニケーション、国際保健に関する研究	ayasaitoh8
	西方真弓	周産期のハイリスク妊産婦とその家族へのケアに関する研究	nishikata
	横野知江	看護師の継続教育、スキンケア、ケア技術の評価・開発に関する研究	tyokono
放射線技術科学	大久保真樹	X線および核磁気共鳴を利用した生体情報の計測と解析	mook
	小林公一	医用画像による生体構造および機能の解析と評価	kobayasi
	近藤世範	医療用コンピュータ支援診断システムの高度化と汎用化に関する研究	kondoy
	齋藤正敏	医用X線イメージングに関する新規手法の研究・開発	masaito
	笹本龍太	放射線治療の精度等に関する研究	rsasa
	高橋直也	X線CT、MRIを用いた死亡時画像診断技術に関する研究	nandtr
	山崎芳裕	核医学領域の画質および定量に関する研究	yoyama
	宇都宮悟	高精度放射線治療の精度向上と品質保証の効率化に関する研究・開発	sutsuno
検査技術科学	佐藤拓一	口腔生態系の網羅的・質的解析システムの開発に関する研究	tak
	佐藤英世	酸化ストレス応答に関与するアミノ酸輸送系の分子生物学的解析	hideyo-s
	富山智香子	肝臓内免疫担当細胞と疾患との関連性	tomiyama
	牛木隆志	炎症抑制因子 SOCS family による慢性炎症制御	tushiki
	奥田明子	膜透過ペプチドを用いた細胞内デリバリーに関する研究	okudaa
	齋藤修	心血管病の診断と治療を支援する検査技術システムの開発に関する研究	osa-saitoh
	サトウ恵	エコヘルスにおける寄生虫感染症～環境変化と寄生虫感染リスク評価	satomeg
	松田康伸	肝細胞がんのDNA修復機構の解析	yasunobu@med.
渡邊香奈子	病原微生物の病原性と宿主細胞分子の解析	kwatanabe	

(メールアドレスは「@clg.niigata-u.ac.jp」の表記を省略)

